

社会的・空間的排除による サバイバルゲームフィールド の変遷



人文学部人文学科
社会文化コース
人文地理学研究室
11310110 田中悠也

目次

- I はじめに
- II 調査資料
- III サバイバルゲームとエアガン
 - 1. サバイバルゲーム
 - 2. エアガン
- IV サバイバルゲームと社会的・空間的排除
 - 1. 1980年まで モデルガン規制時代
 - 2. 1980年から1983年4月 戦争ゴッコ時代
 - 3. 1983年5月から1980年代後半 サバイバルゲーム黎明期
 - 4. 1990年代 サバイバルゲームのスポーツ化の時代
 - 5. 2000年以降 サバイバルゲーム専用フィールド時代
- V 考察
- VI おわりに

I. はじめに

・社会的排除

→セクシュアリティ エスニシティ 貧困 宗教 などを対象

「財・権限を既得する層・集団・国家権力が、特定の社会的カテゴリーを規格外とみなし在野権限から締め出すこと」(西澤 2010)

「排除の要因は、経済的、社会的、政治的な多次元におよぶ。ある領域での排除が他の領域での排除を誘発、個人や社会集団が排除状態に押しやられてゆく」(福原 2007)

「人的資本、物的資本、金融資本からの影響が、現在の選択や制約に影響、その結果がさらに次の選択や制約に影響を与える」(岩田 2008)

・空間的排除(岩田 2008)

「社会的排除は、特定の集団を特定の場所から排除し、その結果排除される人々が特定の場所に集められる。この特定の場所それ自体が、排除された空間として意味づけられていく」

I. はじめに

地理学的研究 原口(2003)

対象地区 : 大阪府「釜ヶ崎」(「西成」「あいりん」)

調査方法 : 新聞記事、ルポルタージュによる言説分析

結果 : マスメディアによる地域のイメージ付加 → 地域の社会的排除
地域住民による寄場解散要求 → 寄場労働者の社会的排除
「あいりん」地区による境界形成 → 空間的排除

→原口(2003)を参考に言説分析

I. はじめに

「通常の人々の生活にも排除の要素は含まれている」

「消費活動や政治参加などのさまざまな不利の経験から、排除は複合的に生成される」

→趣味活動の社会集団においても「排除」は働いている？

・渡邊(2014)永井・福田(2012)

「オタクアイデンティティをもつ人たちは、そうした趣味を持たない人たちから否定的印象を受けている」

「自らもオタクアイデンティティを持たない人たちに対し緊張を感じる」

→サバイバルゲームにどのような排除が働き、影響してゆくのか明らかにする。

II. 調査資料

雑誌『COMBAT』(KKワールドフォトプレス:1980年5月号~2016年8月号)

・1980年創刊のミリタリー総合誌

・1983年5月号にて、米国の「サバイバルゲーム」を紹介

・巻末に「投書欄」「伝言板」

→投書欄……記事内容、遊戯銃、軍事、サバイバルゲームなどに関する読者の意見

→伝言板……サバイバルゲームチーム結成告知、イベント告知
(フィールド所在地、フィールド選択理由、ルール等記載)

→「サバイバルゲーム」伝播以前から現在まで一貫した形式で発言を捕らえられる。

Ⅲ. サバイバルゲームとエアガン

1. サバイバルゲーム

- ・明確な定義なし
 - 道具、遊び方、サバイバルゲームに対する認識により時代ごとに異なる
- ・本稿では「エアガンを使用し、互いに撃ち合い勝敗を決する戦闘を模した遊戯」と定義
 - ※資料中でサバイバルゲーム以外の呼称がなされていた場合、定義に合致していた場合同様のものとして扱う。
- ・ゲームは「フィールド」で行われる
 - フィールドも明確な定義なし
 - 自由に設定。その場所をむしろフィールドと呼んでいた
 - 現在は専用整備されたフィールドが主に使用される。

Ⅲ. サバイバルゲームとエアガン

2. エアガン

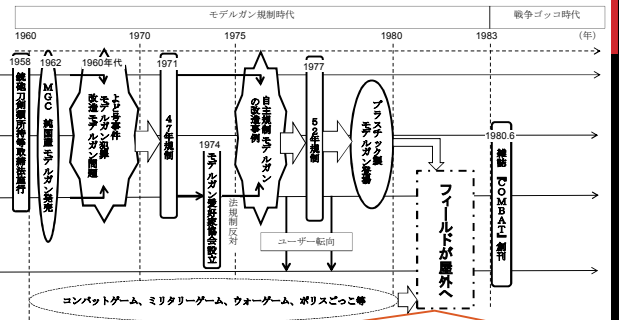
分類	詳細
遊戯銃	銃身の形を模したおもちゃの銃類。
モデルガン	外觀や構造を実銃に模したおもちゃ。弾を発射することはできない。火薬を破裂させ、音や発火、動作を楽しむ。
エアガン	外觀を実銃に模し、弾を発射できるおもちゃ。射的やサバイバルゲームに用いられる。
エアコックンガン	弾を飛ばす空気を圧縮するためのピストンを手動で動かすエアガン。
ガスガン	圧縮したガスの圧力でBB弾を飛ばすエアガン。ガスには低圧フロンガスや代替フロン、炭酸ガス、エアなどが使用される。
外置ボンベ式	エアガンの外にガスボンベを接続する方式。初期のガスガンはこの方式であった。
内蔵タンク式	エアガン本体にガスタンクを備えている方式。内部のガスタンクに液化ガスやエアを充填する。
電動ガン	弾を飛ばす空気を圧縮するためのピストンを電気で動かすエアガン。電池やバッテリーを使用する。光銃銃、コルク銃、水鉄砲、銀玉鉄砲、輪ゴム銃など
その他の遊戯銃	光銃銃、コルク銃、水鉄砲、銀玉鉄砲、輪ゴム銃など
射的遊戯銃	実銃を、弾が発射できない状態に加工したものを。日本では警察及び公安委員会に認められたものが、美術品として所持することができる。

Ⅳ. サバイバルゲームと社会的・空間的排除

5時代に分類

- ・1980年まで モデルガン規制時代
 - 『COMBAT』創刊
- ・1980年から1983年4月 戦争ゴッコ時代
 - 「サバイバルゲーム」伝来
- ・1983年5月から1980年代後半 サバイバルゲーム黎明期
 - 印象改善のための動き
- ・1990年代 サバイバルゲームのスポーツ化の時代
 - フィールドの専用化
- ・2000年以降 サバイバルゲーム専用フィールド時代

1. 1980年まで モデルガン規制時代

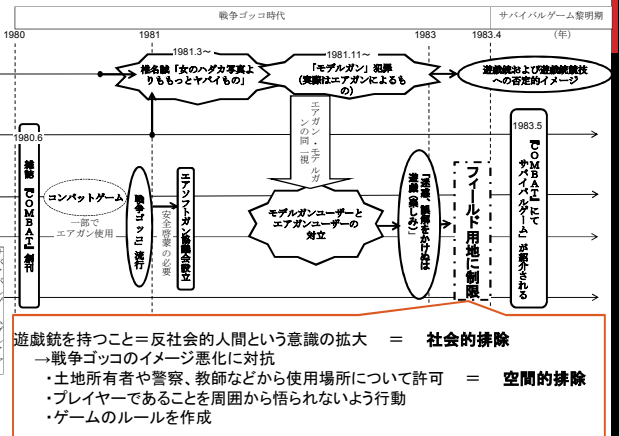


「金属製モデルガンは、銃口がふさがれて発火に対して不向きであった。」
 「外での撃ち合いが盛んになるのは1970年代後半のプラスチック製モデルガン登場から。とても家の中では発火できない。だから外で思う存分発火させる」
 →モデルガンの性能制限 = 社会的排除
 →対抗した性能の製品の登場 = 空間的排除

1. 1980年まで モデルガン規制時代

- ・社会的排除
 - モデルガンの違法改造、銃器による殺傷・脅迫事件
 - モデルガンの印象悪化、2度にわたる規制
 - モデルガンの構造・材質に制限
- ・空間的排除
 - 「金属製モデルガンは、銃口がふさがれて発火に対して不向きであった。」
 - 「外での撃ち合いが盛んになるのは1970年代後半のプラスチック製モデルガン登場から。とても家の中では発火できない。だから外で思う存分発火させる」
- 規制(社会的排除)にともなうモデルガンの性能変化が遊び場を変化させた。

2. 1980年から1983年4月 戦争ゴッコ時代



遊戯銃を持つこと=反社会的人間という意識の拡大 = 社会的排除
 →戦争ゴッコのイメージ悪化に対抗
 ・土地所有者や警察、教師などから使用場所について許可 = 空間的排除
 ・プレイヤーであることを周囲から悟られないよう行動
 ・ゲームのルールを作成

2. 1980年から1983年4月 戦争ゴッコ時代

1980年6月『COMBAT』創刊

・社会的排除

モデルガンを使用した「コンバットゲーム」、エアガンも交えた「戦争ゴッコ」の流行。

→ 遊戯銃所持に対する悪印象。(右傾化、暴力性、異質性)

世間のモデルガンとエアガンの同一視

→ モデルガンユーザーとエアガンユーザーの反目

→ 相互に遊戯銃というカテゴリから排除し合う

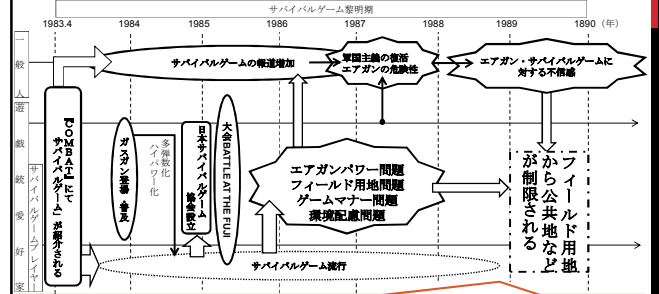
・空間的排除

戦争ゴッコのイメージ悪化に対抗

・土地所有者や警察、教師などから使用場所について許可

・プレイヤーであることを周囲から悟られないよう行動

3. 1983年5月から1980年代後半 サバイバルゲーム黎明期



サバイバルゲームの概念伝来 → サバイバルゲーム流行、報道増加
 → 協会による安全啓蒙 → 大規模大会開催
 → 問題増加、実際の被害、プレイヤー間での不和
 → 印象悪化、エアガン・サバイバルゲームに対する不信感 = 社会的排除
 → フィールド用地の制限 = 空間的排除 (公共地、公園など)

3. 1983年5月から1980年代後半 サバイバルゲーム黎明期

1983年5月「サバイバルゲーム」伝来

・社会的排除

サバイバルゲーム流行、関連報道増加

→ 協会による安全啓蒙

→ 大規模大会開催

→ 問題増加、実際の被害、プレイヤー間での不和

→ 印象悪化、エアガン・サバイバルゲームに対する不信感

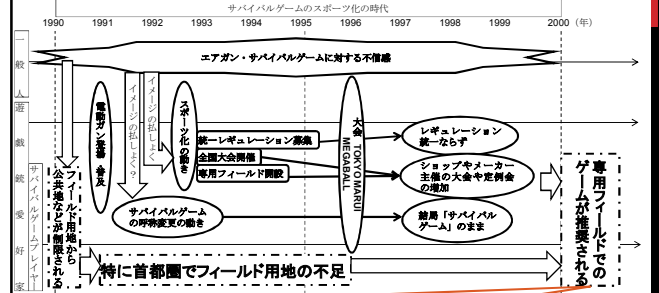
・空間的排除

「アウトロー」プレイヤーによる、一般人・プレイヤーへの被害

→ フィールド用地の制限(公共地、公園など)

→ 一般用地でのゲーム自粛

4. 1990年代 サバイバルゲームのスポーツ化の時代



「首都圏でフィールド用地が不足」 ← フィールド用地の制限、都市開発 = 空間的排除
 エアガン・サバイバルゲームに対する不信感 = 社会的排除
 → スポーツ化、呼称変更
 ・統一レギュレーション募集
 ・全国大会開催
 ・専用フィールド開設
 「第三者への事故予防啓蒙」「専用地でのプレイ推奨」

4. 1990年代 サバイバルゲームのスポーツ化の時代

・社会的排除

エアガン・サバイバルゲームに対する不信感

継続するサバイバルゲームへの不信感

→ 呼称変更

→ スポーツ化

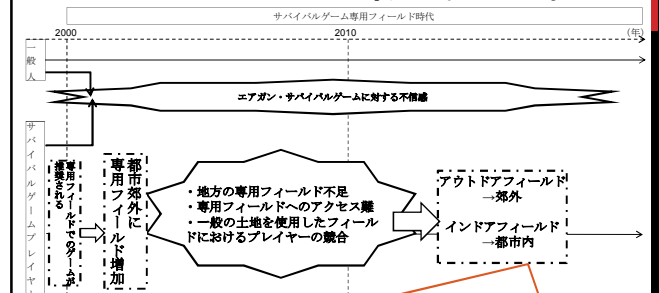
・空間的排除

フィールド用地の制限、都市開発

→ 「首都圏でフィールド用地が不足」

・専用フィールド開設
 「第三者への事故予防啓蒙」
 「専用地でのプレイ推奨」

5. 2000年以降 サバイバルゲーム専用フィールド時代

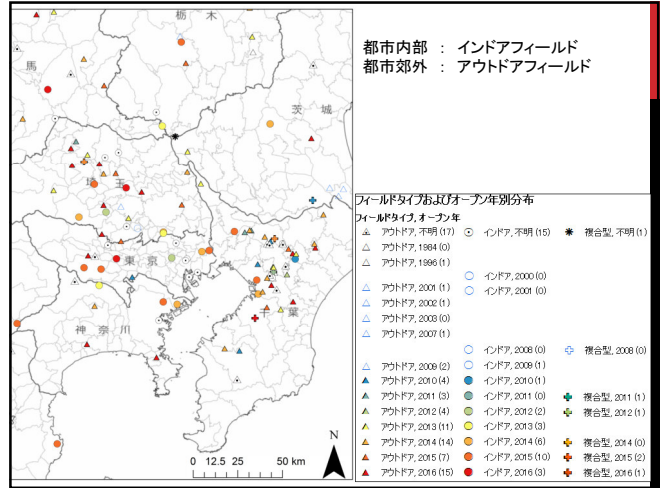
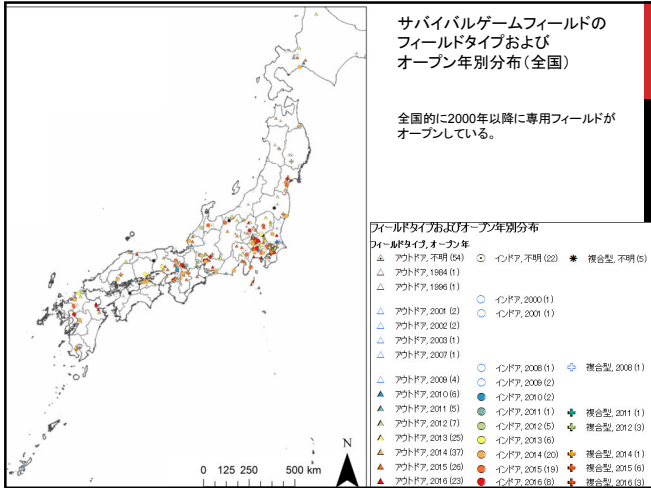


2000年代 郊外に専用フィールドの増加 → 全体的な普及にならず。

2010年以降 さらに専用フィールド拡大

→ 都市内部 : インドアフィールド

→ 都市郊外 : アウトドアフィールド



V. 考察

- ・サバイバルゲームは以下の観点により社会的排除が働いていた。
 - ・「暴力的」「好戦的」「旧軍国主義」といったイメージ
 - ・エアガンの「危険性」「反社会性」
- ・これらに対し、サバイバルゲームプレイヤーは以下の対応を行っている。
 - ・プレイヤー間での安全確保
 - ・「アウトロー」プレイヤーの排除、「マナー」遵守の啓蒙
 - ・集団の内側でも排除合戦
 - ・第三者からの能動的隔離
 - ・屋外→公共地以外→都市郊外→専用フィールド

V. 考察

- ・サバイバルゲームに社会的排除が働き、空間的にも排除されてきた。
- ・一部には、プレイヤーが一般人から能動的に自分たちを隔離している構造も見られる。「嗜好として選択している状況」(阿部 2007)
 - 社会的排除が働いたのちに、対応する形

↓

詳細な時代別に見た場合、サバイバルゲームはプレイヤーによる能動的な動きでフィールドが変化してきたと見る事も出来るが、全体の流れのなかでは、社会的排除に起因する空間的排除により、次第に専用フィールドに押し込められてきた。

VI. おわりに

今回の調査では

- ・『COMBAT』から、サバイバルゲームプレイヤーの「内」からの情報が主であった。
- ・排除の要因(事件・事故・犯罪・戦争などの時代背景)に関して、詳細まで追うことができなかった。
- ・2007年2月に施行された改正銃刀法の関連に言及できず。
- ・「嗜好として選択している状況」とみられるが、断言できない。
 - 文献調査の限界? 聞き取り調査等で複数の視点から分析する必要がある。
- ・「空間の専門化」の流れに従った可能性
 - 要検討

参考資料

- 青木茂樹編 2000. 『これが決定版！ サバイバルゲーム入門』バウハウス MOOK. 株式会社バウハウス.
- 阿部 寿 2007. 現代日本の社会的排別の現状. 福原安孝編『社会的排別/包摂と社会政策』法律文化社.
- 井上 俊雄 2016. 『ピースコンバット』ロープマガジンジャパニーズ増刊13, トランスワールドジャパニーズ株式会社.
- 若田正美 2008. 『社会的排別の欠知・不確かな帰属』有斐閣.
- 若田正美 2010. 『MAGNUM STYLE～サバイバルゲーム編～』ジャパニーズMOOK363. 株式会社バウハウス.
- 若田正美 2013. 『IWE LOVE サバイバルゲーム』ジャパニーズMOOK 534. 株式会社バウハウス.
- 小笠原晴雄 2016. 『昭和40年男』39. 株式会社クレタ/ブリッジング.
- 小川光二 1986. 『エアゾウグラフィックス』モデルグラフィックス8月号別冊. 大日本図書.
- 小川光二 2003. 『サバイバルゲーム 虎の巻』ジャパニーズMOOK. 株式会社バウハウス.
- 小川光二 2005. 『サバイバルゲームガン&ギアカタログ』ジャパニーズMOOK163. 株式会社バウハウス.
- 小川光二 2009. 『SURVIVAL GAME HAND BOOK～サバイブ完全ガイド～』ジャパニーズMOOK311. 株式会社バウハウス.
- 落合隆二・松下一身 1987. カラー全圖 戦争ごっこ(サバイバルゲーム). 運河堂石 265:25-28, 219-222. 光文社.
- 影山慶夫 1986. サバイバルゲーム・マニュアル. 月刊広告批評85:61-64. マド出版株式会社.
- 小笠原圭 2015. 『いちばんやさしいサバイバー入門』最強の個人技術上達員鳥居新吾.
- 小笠原圭 2013. 『Survival Game Fun サバイバーファン』TOWN MOOK. 書籍工房.
- 朝岡良治編 2016. 『サバイバルゲームマーズ2016 SUMMER』ジャパニーズMOOK726. 株式会社バウハウス.
- 朝岡良治編 2016. 『GUN Professionals 8月号』株式会社バウハウス.
- 朝岡良治編 2016. 『月刊アームズマガジン』月号』株式会社バウハウス.
- 嵯久人 1997. 『サバイバー入門』コミック版』建本書房.
- 白川俊彦編 2001. 『FAIR GUN サバイバルゲーム完全マニュアル2002年』SEIBIDOMOOK. 成美堂出版.
- 白川俊彦編 2002. 『FAIR GUN サバイバルゲーム完全マニュアル2003年』SEIBIDOMOOK. 成美堂出版.
- 白川俊彦編 2003. 『FAIR GUN サバイバルゲーム完全マニュアル2004年』SEIBIDOMOOK. 成美堂出版.
- 白川俊彦編 2004. 『FAIR GUN サバイバルゲーム完全マニュアル2005年』SEIBIDOMOOK. 成美堂出版.
- 田嶋智文 1990. 『サバイバルゲーム大全集』広済堂.
- 鶴人 2014. 『初めてのサバイブ 勝つだけでなくネットゲイもいよいよリアル』のサバイバルゲーム入門書』青林堂.
- ななこにこ 1995. 『マンガ版 サバイバルゲーム入門』株式会社バウハウス.
- ななこにこ 1996. 『マンガ版 サバイバルゲーム入門』株式会社バウハウス.
- 中西一雄 2014. 『サバイバーモング1』NEKO MOOK 2202. 株式会社ネコグラフィック.
- 窪澤英彦 2010. 『食者の戦場——誰が排絶されているのか』河出書房新社.
- 放野修二 2003. 『サバイバルゲーム ジェネレーション』彰研社.
- 原口 剛 2003. 『警備隊』の生産過程における場所の構築と制度的実践——大阪『警備隊』を事例として——. 人文地理55-2, 23-45.

参考資料

- 藤原直子編 2015. 『トイガン&カスタムパーツオールカタログ2015』主婦の友生活シリーズ. 株式会社主婦の友社.
- 滝見悦司 1996. 『AIR GUN サバイバルゲーム完全マニュアル』成美堂出版.
- 滝見悦司 1997. 『AIR GUN サバイバルゲーム完全マニュアル'98』SEIBIDOMOOK. 成美堂出版.
- 滝見悦司 1998. 『AIR GUN サバイバルゲーム完全マニュアル'99』SEIBIDOMOOK. 成美堂出版.
- 滝見悦司 1999. 『AIR GUN サバイバルゲーム完全マニュアル2000年』SEIBIDOMOOK. 成美堂出版.
- 滝見悦司 2000. 『AIR GUN サバイバルゲーム完全マニュアル2001年』SEIBIDOMOOK. 成美堂出版.
- 福原安孝 2007. 社会的排別/包摂の現在と未来/パラダイム/言説/定かざる議論を中心に. 福原安孝編『社会的排別/包摂と社会政策』法律文化社.
- 今井今朝樹編『COMBAT』ワールドフォトプレス. 1980年6月号～2018年8月号.
- “県内人気呼ぶサバイバルゲームルール守れば安全 昨年5月、県連盟が決定”. 秋田新聞報. 1988-3-27. 朝刊10.
- ASGK - 日本遊戯銃同好会(HP). <http://www.asgk.jp/index.html> (2016年10月20日)
- GUN道場. <http://gundoujo.net/> (2016年10月20日)
- サバイバルゲーム 生きろのな歴史 歴史展. <http://www.geocities.co.jp/Playtown/5805/t02/index1.html> (2016年10月20日)
- 銃砲刀剣所持取締法. <http://law.e-gov.jp/htmlldata/S33/S330006.html> (2016年10月20日)
- 銃砲刀剣所持等取締法施行規則. <http://law.e-gov.jp/htmlldata/S33/S330303/01000016.html> (2016年10月20日)
- 全日本トイガン安全協会. <http://www.stga.ecnet.jp/index.html> (2016年10月20日)
- 東京マルイ会社情報 代表的な商品. <http://www.tokyo-marui.co.jp/company/history/> (2017年1月2日)
- 特定非営利活動法人JASG 日本エアスポーツガン協会(HP). <http://airsportgun.com/> (2016年10月20日)
- 古いトイガンとかがいる. <http://www.geocities.jp/nocozal/index.html> (2016年10月20日)

参考資料

- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1980年6月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1980年7月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1980年8月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1981年2月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1981年4月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1981年5月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1981年6月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1982年7月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1983年3月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1983年12月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1984年5月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1984年10月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1985年1月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1985年3月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1985年4月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1985年11月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1986年1月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1986年3月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1986年5月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1986年8月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1986年9月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1986年12月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1987年2月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1990年5月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1991年4月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1991年7月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1991年8月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1991年11月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1992年5月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1992年12月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1993年5月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1993年6月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1993年7月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1994年2月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1994年3月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1994年5月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1995年1月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 1995年12月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 2000年1月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 2001年4月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 2001年5月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 2001年10月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 2002年1月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 2002年3月.
- 『COMBAT』, KKワールドフォトプレス. 2004年2月.

ご清聴ありがとうございました

